

科目名	ドイツ語中級 I	形態	演習	開講期	春学期
担当教員	越智 フェリシタス	単位	1	年次	2

＝授業科目の目標＝

ドイツ語基礎で習得した文法知識をもとに、日常生活に役立つ実践的な会話のパートナー練習を繰り返すことで、表現力と語彙力が身につくことを目標とします。さらに細かなニュアンスの違いが理解できるようになること、またそれを表現できるようになることを目指します。実際にドイツに行った場合でも、ためらわずドイツ語を話せるようになる自信と能力を養います。同時に、ドイツと日本における文化の違いを視野に入れた異文化理解への洞察力が得られるようにします。

＝履修の条件と学習の方法＝

会話を高める第一歩は、躊躇せずにドイツ語を声に出しそれを楽しむ姿勢が肝要です。授業時間は限られているので、各自家で文法の復習や短い会話を暗記することは必須条件です。更に、文字に頼らずドイツ語を使って積極的に話すことが授業への参加条件です。リアルタイムで報道されるドイツに関する興味深いテレビ番組や新聞記事などがあれば、授業で紹介してもらい、それをテーマに会話を発展させます。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 挨拶言葉：基礎発音の復習・人称代名詞・動詞の現在人称変化
- 3回 自己紹介：重要な不規則動詞・文の作り方
- 4回 ドイツの住まい：名詞の性と冠詞、定冠詞類、不定冠詞類
- 5回 家族の紹介：不規則動詞・人称代名詞の格変化・否定文の作り方
- 6回 身近な物を買う：定冠詞、不定冠詞と名詞の格変化
- 7回 服を買う：数字・定冠詞類、不定冠詞類の格変化
- 8回 前半のまとめ・ドイツ人の生活を描くドキュメンタリー映画鑑賞
- 9回 カフェで飲み物を注文する：名詞の複数形
- 10回 ベルリンの町並み：前置詞
- 11回 道案内：話法の助動詞
- 12回 天候表現、動物の鳴き声：不定代名詞の man・非人称主語の es
- 13回 電話の仕方：間接疑問文・zu 不定詞・否定疑問文の答え方
- 14回 パーティーとマナー：接続詞、従属接続詞と副文
- 15回 春学期のまとめ・復習

＝成績評価の方法と評価の基準＝

授業中の平常点と学期末に行う筆記試験を、以下の割合で総合的に評価する。

- ・平常点（50％）の内訳：毎回の出席状況：30％、授業に意欲的に貢献しているか：20％、ドイツ語の発音、アクセント、イントネーションの正確さ：20％、ドイツ語による質問を正しく理解し、それに答えられる力：30％
- ・学期末筆記試験：50％

＝テキスト（必携）＝

書籍名：はじめてのドイツー使えるドイツ語表現

著者名：河合節子 他

出版社：三修社

出版年：2013年

価格：2400円＋税

ISBN978-4-384-12275-6